

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

今年度の重点化観点…知識・技能

重点指導事項…漢字や語彙力などの基礎知識の定着を目指す。

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・漢字検定や漢字小テストを通じて漢字力の向上を図った結果、第2、3学年においては成果が見られた。
- ・全ての学年で目標値を上回ることができた。

(2) 課題

- ・語彙力の向上に努めてきたが、目標値を大幅に上回ることができなかった。今年度も【知識・技能】の観点に重きを置き、漢字や語彙力など基礎学力の定着を目指したい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	言葉の特徴や使い方に関する項目が目標値を超えていない。一方で他の項目においては目標値を上回っており、読むことに関しては全国よりも高い結果が見られた。	漢字の書き取りと漢字を読む力、及び、言語文化に関する問題の正答率が低い。説明的な文章や文学的な文章の読み取り問題の正答率が高い。文章を書く問題の正答率も各平均より高い。	例年の傾向であるが聞き取り問題の正答率が低い。
第2学年	漢字の書き取り問題の正答率が目標よりも区の平均正答率よりも低い。説明的文章の読解問題の正答率が区の平均正答率より低い。	説明的な文章の内容を読み取ることに課題があった。漢字の書き取りの正答率は他の学年より高い。	知識・技能の観点において前年度を上回った。他の観点においても目標値を上回っている。
第3学年	言葉の特徴や使い方に関する項目が目標値を超えている。また、基礎的な問題の正答率が高い結果が見られた。	漢字の書き取りと文章を書くことに課題があった。	書く力の観点において目標値を大きく上回った。漢字を書く力において前年度を大きく上回った。

(2) 分析 (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	目標値に近い結果が見られたため、今後も継続して知識・技能の向上が見込める学習活動を行う。	言語文化の項目と読むことの項目が目標を大きく上回っているため、更に伸ばすことのできる教育活動を行う。	目標値に近いものの、今後も主体的に取り組むことができるように声かけなどが必要な結果である。
第2学年	目標値や区・全国の平均値を上回っているが、漢字の書き取りの力を伸ばさないといけない。	目標値や区・全国の平均値を上回っているが、説明的文章の読解力を伸ばす必要がある。	全体的に目標値を上回っており、主体的に学習に取り組む態度は身につけているほうである。ただし、目標としては6割台を目ざしたい。授業の発問から変えていく必要を感じる。
第3学年	目標値を大きく上回っている。漢字テストの繰り返しなどによるものと推察される。	区や全国に比べて下回ってしまっているため、今後の取り組みで向上させていく必要がある。	目標値に近い結果であった。日々の積み重ねの成果であると考えられる。

3 授業改善のポイント (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	定期的な小テストを通して、基礎学力の定着を目指す。また、知識が断片的にならないように資料集や動画を活用した授業を行う。	学習した知識を応用させるための思考力を養う取り組みを行う。ペアワークやグループワークやICTを適切かつ効果的に活用する。	漢字小テストの繰り返しやお互いの学習のフィードバックを通して国語に対する興味関心がもてるような授業を行う。
第2学年	小学校履修配当の教育漢字の書き取りができるように、定期的に小テストを実施し、漢字が書けるように指導する。漢字検定の受検奨励も行う。	教科書掲載の説明的文章のみならず、新聞等に掲載した論説文や評論文等の説明的文章を提供し読ませる機会を増やす。	日頃の授業の中で、学習目標を明確にし、日常生活に行かせる国語を意識させる授業を心掛け、学習意欲の向上を目指す。特に表現しようとする心と自信を育てたい。
第3学年	漢字などの知識・技能が定着している結果が出たため、今後も継続して漢字小テストを行う。また、ICTを活用した学習や反復学習を行い、基礎の定着ができるようにする。	話すことと聞くことの項目が目標値を下回っているため、適切に話す力・聞く力をつけるための学習活動を行う。	お互いの努力を認め合う学習活動を通して主体的に学習に取り組む態度を育てたい。また、受験を意識した学習を通して提出物への取り組みなども意識向上を目指したい。